

物語文を読んでえらぼう

小4／物語を読んで、登場人物の気持ちや、その理由を1つえらびましょう

なまえ

ひづけ

1 負けたしあいを よんで、帰り道のけんとの気持ちを1つえらびましょう。

サッカーのしあいに負けたけんとは、くやしくて下を向いた。しかし帰り道、コーチの「よくさいごまであきらめなかった」という言葉を思い出し、こぶしをにぎって「次は勝つ」と心に決めた。

- 1 もうサッカーをやめたい気持ち。
- 2 次こそ勝とうという前向きな気持ち。
- 3 だれかのせいにしたい気持ち。
- 4 しあいのことを忘れたい気持ち。

2 ないしょのプレゼントを よんで、ひかりが手紙を引き出しにかくしたのはなぜですか。1つえらびましょ

母のたん生日に、ひかりはこっそり手紙を書いた。わたすまでだれにも気づかれないように、引き出しのおくにかくして、当日を楽しみに待った。

- 1 手紙がだれかにばれないようにするため。
- 2 手紙をなくしたくなかったから。
- 3 書くのがはずかしかったから。
- 4 先生に見せるため。

3 転校する友だちを よんで、さいごの日のあおいの様子を1つえらびましょう。

なかよしのゆきが転校すると聞いて、あおいは何も言えなくなった。さいごの日、ゆきが「手紙、書くね」とわらってくれたとき、あおいはなみだをこらえて大きくうなずいた。

- 1 何ともないようにわらっていた。
- 2 かなしみをこらえていた。
- 3 おこってにらんでいた。
- 4 ねむそうにしていた。